



2012年 夏号

URL : <http://www.karashi.net/>

「大飯原発再稼働」に思う

昨年の福島第1原発事故以来、私たちの国は原子力エネルギーに関して態度を決めかねてきました。原発関連の交付金が町の予算の半分以上を占めるおおい町、そして福井県は6月16日再稼働を全面的に支持、野田佳彦首相は原発再稼働に向けて大きく舵を切りました。関西電力は大飯原発3号機と4号機が7月下旬までにはフル稼働できるように準備を始めました。おおい町周辺自治体の住民の81%が、大飯原発でも重大事故が起きる危険性があると考えていますが（5月31日発表NHKアンケート調査）、背に腹は代えられないという姿勢が再稼働を決定させたものと思われま

す。原子炉内で自然に出来てしまう人工の放射性物質の半減期は、ヨウ素131で80日、セシウム137は30年、コバルト60は53年、プルトニウム239は24,000年です。原発によって、確かに電力を供給し、いつでも大量殺戮兵器を作ることにはできる力を手にしましたが、誰が責任をもって安全に放射性廃棄物を封じ込めるのかという課題は何世代も後の人々に先送りにしたままです。

一旦事故を起こすと放射能は拡散し、一国だけの問題ではなくなります。技術力に課題を抱える国々に原発を輸出することが、持続可能な世界をつくることに貢献するのとも考えなければなりません。

今、私たちが迫られている選択は「いのち」を選ぶか「おカネ」を選ぶか、というものです。「私は、いのちと死、祝福とのろいを、あなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。」